

OPCEL 認定試験対応テキスト販売中



目次 :

[第1部] アーキテクチャとデプロイメント

- 1章 : クラウドコンピューティングの概念
- 2章 : アーキテクチャと設計
- 3章 : インストールとデプロイメント/演習
- 4章 : クライアントアクセス (CUI/GUI)/演習

[第2部] コアサービス

- 1章 : アイデンティティサービス (Keystone)/演習
- 2章 : ネットワーキングサービス (Neutron)/演習
- 3章 : イメージサービス (Glance)/演習
- 4章 : コンピュートサービス (Nova)/演習
- 5章 : ブロックストレージ (Cinder)/演習
- 6章 : オブジェクトストレージ (Swift)/演習

[第3部] オプションサービス

- 1章 : ダッシュボード (Horizon)/演習
- 2章 : テレメトリ (Ceilometer)/演習
- 3章 : オーケストレーション (Heat)/演習
- 4章 : ベアメタルプロビジョニング (Ironic)
- 5章 : その他のオプションコンポーネント

テキスト単価 : 9,720 円 (税込・送料込)

- ・ 演習用 DVD (3 枚組) が付属しています。
(演習用テキスト PDF 版含む)
- ・ 模擬問題、問題集は含まれていません。

■ 有限会社ナレッジデザイン ■

〒182-0026 東京都調布市小島町 1-11-6 アリエル 505

URL <http://kwd-corp.com/>

問い合わせ先 : encke@kwd-corp.com



OPCEL 認定テキストを使用したコース 開催中

OpenStack 構築・運用管理 (OPCEL 認定試験対応) コース

株式会社 NGN-SF 主催による OpenStack 構築・運用管理 (OPCEL 認定試験対応) コースが定期開催されています。教材としてナレッジデザイン著「OpenStack 構築運用トレーニングテキスト - OPCEL 認定試験対応」を使用しています。

- ・ 開催場所 : 株式会社 NGN-SF 五反田会場
- ・ 開催期間 : 4 日間
- ・ お申込先 : <http://www.ngn-sf.co.jp/course/course.php?courseid=C000245>

お申込みは 株式会社 NGN-SF へ!



【解説】 OPCEL ミニ模擬試験

問題 1 難易度 ★★★★★	問題 2 難易度 ★★★★★
<p>自社内の資源を利用しながら、負荷的に対応できない場合に外部の資源を利用するクラウド方式はどれですか？(1つ選択)</p> <p>a. プライベートクラウド b. エンタープライズクラウド c. パブリッククラウド d. ハイブリッドクラウド</p> <p>[正解] d</p> <p>クラウドを利用する方法としては、大きく3つに分けることができます。1つ目は、既存のクラウド環境を使用すること(パブリッククラウド)。2つ目は、自社内の資源をクラウド化すること(プライベートクラウド)。3つ目は、既存のクラウドと自社内のクラウドの両方を使用すること(ハイブリッドクラウド)です。ハイブリッドクラウドは、自社内の資源だけで対応できない場合に、パブリッククラウドを使用することで、対応することができます。したがって、正解は「d」になります。</p>	<p>RDO のインストールで使用するコマンドはどれですか？(2つ選択)</p> <p>a. chef-solo -o setup-openstack b. packstack --allinone c. ansible-playbook -i inventory-file -u root openstack.yml d. yum install openstack-packstack</p> <p>[正解] b, d</p> <p>OpenStack ディストリビューション毎にインストール方法が異なります。RDO は、RedHat 系の Linux 及び、そのクローン上で動作します。RDO は OpenStack ディストリビューションの一つであり、無償で利用することができます。RDO では、packstack と呼ばれるインストールツールが用いられます。packstack は yum でインストールされ、RDO インストール時に必要なパッケージ群は、packstack が yum を用いてインストールします。したがって、正解は、「b」、「d」となります。</p>
問題 3 難易度 ★★★★★	問題 4 難易度 ★★★★★
<p>OpenStack のコマンドとして正しいのはどれですか？(2つ選択)</p> <p>a. openstack server create b. openstack network list c. open-stack vm create d. open-stack net list</p> <p>[正解] a, b</p> <p>OpenStack のコマンドは「openstack」コマンドとサブコマンド及び、幾つかのオプションで成り立ちます。仮想マシンを管理する場合は、server サブコマンドを使用し、ネットワークを管理する場合は、network サブコマンドや subnet サブコマンドを使用します。その他にも様々なサブコマンドが用意されており、詳細は次の URL で確認できます。 http://docs.openstack.org/cli-reference/openstack.html したがって、正解は「a」、「b」となります。</p>	<p>Cinder の説明で正しいものはどれですか？(2つ選択)</p> <p>a. インスタンスはローカル接続のブロックデバイスとしてアクセスする b. ルートファイルシステムの構築はできない c. インスタンスが削除されると、割り当てられた領域も削除される d. インスタンス上のコマンドでファイルシステムを構築できる</p> <p>[正解] a, d</p> <p>Cinder は永続化ストレージを提供するコンポーネントです。インスタンスは、このストレージをローカルに接続されたブロックデバイスとして認識します。したがって、「a」は正解です。但し、デバイスとして認識されているだけなので、利用する場合には、インスタンスが使用するファイルシステムで初期化します。よって「d」は正解です。また、このストレージを起動ストレージとして提供することもできるので、「b」は不正解となります。インスタンスが終了し削除されたとしても、Cinder の永続化ストレージは削除されないため、「c」は不正解です。</p>
問題 5 難易度 ★★★★★	
<p>Neutron の「フローティング IP」の説明について正しいものはどれですか？(1つ選択)</p> <p>a. 内部仮想ネットワークの構成に合わせて提供される IP アドレスであり、起動時に仮想 NIC に割り当てられる b. コンピュートノード上の iptables で提供されるセキュリティのルールセットである c. 外部と通信するための IP アドレスであり、インスタンスに対して動的に割り当てる事ができる d. OpenStack のコンピュートノードに割り当てる IP アドレスであり、動的にコンピュートノードを増設する際に割り当てる</p> <p>[正解] c</p> <p>フローティング IP は外部と通信するための IP アドレスであり、OpenStack 内のルーターの one-to-one NAT(DNAT と SNAT)設定で提供されます。そのため、インスタンスに動的に割り当てる事ができます。したがって正解は「c」となります。「a」はプライベート IP アドレスと呼ばれ、内部の仮想ネットワーク上に自動的に割り当てられる IP アドレスです。主にインスタンス間の通信に使用されます。「b」はセキュリティグループと呼ばれ、パケットフィルタリングルールです。</p>	

